

富士市立高等学校 学校運営協議会		第 3 7 回 会議要旨 (令和 7 年度)
開催日 令和 7 年 6 月 1 3 日 金曜日 開 会 1 4 時 0 0 分 閉 会 1 6 時 3 0 分	会議場 富士市立高等学校 2 階 会議室 オンライン併用	
出席者 * 敬称略 【学校運営協議会委員】 井上美千子 菅野大樹 木野正美 塩田真吾（オンライン） 中村孝一 橋本 仁 畑 裕美（オンライン） 吉村直也 櫻井祥行 豊島実侑委員は所用のため欠席 【市立高校教員】 飯嶋雄三 青木伸介 見城喜哉 石村俊樹 望月佑輔 後藤大輝 佐野大悟 佐藤かおり 永田裕一 杉山秀幸 【市立高校職員】・【市教育総務課】 榎 俊英 吉野正敏 永尾倫子 滝 陽介 遠藤真輝		
開会		
校長挨拶 ・ 現在、富士地区、富士宮地区で学校の再編整備を検討しており、校数の減少が予定されているが、本校は「探究を軸に、自ら課題を持ってそれを解決していく生徒の育成」を目指している。 ・ 実社会が求める人材、「プレゼンテーション力」や、「コミュニケーション力」といったいわゆる「非認知能力」をいかに引き出せるかが本校の使命であると考えている。その点、本日の授業参観でもご覧いただきたい。 ・ 富士地区には多くの外国人が住んでおり、共存することが当たり前の社会になっている。本校でも「海外を知ることによって相互理解に繋がる」という考えに基づき昨年から 5 年ぶりに海外研修を再開している。 委員紹介 会長、副会長選任 ・ 会長に中村委員を選出。副会長は会長の指名で櫻井委員を選出。 会長挨拶 ・ 大学でも探究には力を入れており、例えば、「学校課題研究」という形で、学校が抱える問題についてテーマを自分たちで決め、実態調査をしたり、モデルプランを考えてプレゼンテーションを行う取り組みをしている。 ・ 探究は、自分たちで調べ、分析しながら導き出した成果であるか否かが重要であり、高校生のうちから身近な問題を自分事として捉え、問題解決に取り組む高校は、社会にとって頼もしい存在だと		

思う。 ・この会では委員の皆様の様々な意見を踏まえて学校に伝え、地域と共に発展し、市立高校の生徒のより良い成長に寄与していきたいという思いで会長を引き受けた。	
授業参観 学校内を見学しながら、各授業を参観していただいた。	
授業参観に関する質疑応答	
(意見・質問等)	・先生方が、丁寧に授業を設計し、生徒が集中できる環境が整っていると改めて感じた。
(意見・質問等)	・3年の授業では、ChatGPTを使った授業があり、まだ活用している学校が少ない中で、社会に出た時に通用する力を育てていることが確認でき、非常に勉強になった。
(意見・質問等)	・我々が参観しているからではないと思うが、活気があり驚いた。PC教室も見学したが、設備の良さを改めて実感した。
(意見・質問等)	・私が学校に通っていたころは、一方通行で詰め込み型の授業が多かったが、参観を通して、今の学校教育現場が大きく変わったことを強く感じた。
(意見・質問等)	・県立高校にはない設備で羨ましく思う。1年生は少しおとなしい印象だったが、3年生は参観中も話しかけてくれ、物おじしない性格で、さすが市立高校だと感じた。
(意見・質問等)	・皆さんの意見と重なるが、設備は非常に素晴らしい印象を受けた。そうした環境で生徒が楽しんで授業を受け、通り過ぎる生徒が挨拶をする姿を見て、大変良い雰囲気だと改めて感じた。
(意見・質問等)	・どの教室でもプロジェクターと板書を上手く使い分けていた。生徒も一生懸命取り組んでおり、学校全体が明るく前向きだと感じた。授業を参観することは学校の様子を知る上で非常に良い機会だと思った。
(意見・質問等)	・各委員から授業、設備、先生方、生徒の姿等でプラスの評価をいただいたが、教育活動の成果や、具体的な取り組みについて何かあれば説明していただきたい。
(回答)	・本校の探究科も10年以上経つが、教員が伴走者として共に考えていくことが重要である。 ・参観いただいた英語の授業では「話す」「聞く」を中心に取り組み、「社会探究」の授業ではディベート的な活動、「課題研究」では、くふうハヤテベンチャーズの試合運営に携わるなど、そうした経験が授業での自信に繋がっている。 ・これからの時代は本当に正解のない時代になってきており、本当の答えは何か、我々も考え、生徒と共に考えていくことが求められている。
学校からの報告 ◇探究学習に関する報告 ・本校は、教育目標として「自律する若者」、スクールミッションとして、「コミュニティハイスクール」「ドリカムハイスクール」「インクワイアリハイスクール」の3つがある。スクールポリシーとして生徒に付けさせたい6つの力として、「主体性」「協働する力」「チャレンジ力」「実行力」「傾聴力」「論理的思考力」を掲げている。	

- ・これらの力は非認知能力と言われ、本校では課題解決型の探究学習を通じて、まずは非認知能力を育成し、その中で、認知能力も高める取り組みをしている。
- ・総合的な探究の時間では、生徒が企画したスマホ講座の実施や、公共の授業では高校生議会に参加し市長に提言を行ったり、授業と部活動が連携して、くふうハヤデベンチャーズの試合運営に携わるなど、学校教育全体で探究活動を実践している。
- ・入学直後と卒業直前にスクールポリシーに関するアンケートを実施しており、卒業時には95%以上の生徒が6つの力を身につけていると回答している。

◇部活動報告

- ・現在、県大会が一段落し、9つの部活が県大会に出場している。
- ・陸上部は今月末に開催される東海大会に出場予定で、結果次第では全国大会出場の可能性もある。
- ・サッカー部はプリンスリーグの最中であり、吹奏楽部が6月15日に定期演奏会を開催予定である。

◇令和7年度進路状況報告

- ・例年と異なり、令和7年度は就職希望者が多く、その影響で四年制大学の進学率が43%となっている。国公立に9人が進学し、そのうち6名は一般入試で合格している。
- ・土日や年末年始にも学校に来て勉強する生徒がおり、そうした生徒が一般入試で良い結果を出している。

学校からの報告に対する質疑応答

(意見・質問等)	・進学希望者の課外授業について、先生方が指導しているのか？それとも自習か？
(回答)	・先生方に来てもらい、当番を決めてやっている。質問があればそれに対応するようにもしている。
(意見・質問等)	・進学者が減って就職者が増えたという話があったが、何か要因はあるのか？
(回答)	・詳細な分析をしているわけではないが、入学当初から就職希望者が一定数おり、家庭の事情等も影響していると考えられるが、特にこれが原因だというのは把握していない。
(意見・質問等)	・資料を見ると自転車の事故で自損事故が多いとあるが、どんな感じの事故が多いのか？
(回答)	・1年生の自転車事故が多い。特に電動アシスト付き自転車での登校が多いため、スピードを出し過ぎてブレーキが上手く使えなかったり、前のカゴに荷物を載せるため、バランスを崩して転んでしまう事故が報告されている。
(意見・質問等)	・吉永地区では富士市立高校が高台にあって、下り坂を、スピードを出して運転する生徒もいる。地域としてみると、非常に怖い。町内会連合会でも学校に申立しようかという話もあった。今後、しっかりと指導してほしい。
(回答)	・1年を通して、色々な場面で、交通担当、担任からも指導をしていく。
(意見・質問等)	・地域交流事業が盛んであることはよくわかるが、先生方のワークライフバランスはどうか？
(回答)	・昨年に引き続き「平日週3回、午後8時以降に残留する職員の減少」を評価項目にし

(意見・質問等)	ており、管理職としても、勤務実績簿を確認し、適宜声をかけるようにしている。 ・四年制大学の進学方法として、一般入試と推薦入試の割合は例年と比較してどうか？ 推薦入試の場合、探究の力を発揮することが多いと思うが、他校と比べて優位性はあるのか？
(回答)	・基本的には探究を活かした推薦入試の生徒が多い。ただ、一般入試で受験する生徒も年々増えている。少し前だと、他校の生徒と比較してプレゼンテーションの力が高いと大学からも評価してもらっていたが、現在は他校との差が縮まりつつある。
(意見・質問等)	・富士市立高校は地域に開かれた高校ということで、色々な団体等からお願いを受けると思うが、引き受ける基準は何かあるか？
(回答)	・基本的には連絡があれば積極的参加させていただいているが、生徒の様子をみて学業や学校生活の両立に支障がないかを判断の基準としている。
(意見・質問等)	・昨年の自己評価で、Cが付いている中でも「学習習慣の確立」というのは、現状、どう受け止め、今後どのようにしていきたいのか説明していただきたい。
(回答)	・昨年の協議会でも現状とかなり差のある目標だったと議論があった。今年度も目標そのものは変えておらず、現状の数値をしっかりと確認してから、令和8年度以降に繋げていきたいと考えている。
「令和7年度学校経営計画」の説明 ・学校経営計画には、教育目標、スクールミッション、スクールポリシーが含まれており、非認知能力を高める具体的な取り組みを14ページからカテゴリー分けして記載している。 ・生活習慣の確立や、交通指導については昨年も評価がCであり、気になる点もあるかと思う。生活習慣や交通安全、学習習慣の課題は全体で取り組む必要があり、特に交通指導についてはPTAとも協力して指導できるような環境を作っていく必要がある。 ・学習面では例えば、放課後、校内で検定やテストの勉強をしている生徒もおり、そういった部分も考慮すると勉強時間そのものはもう少し多いと思う。勉強時間を増やすためには宿題を増やせば良いのではと考えるかもしれないが、宿題を増やすと登校拒否につながる傾向もあり、現代の生徒に合った支援や工夫が求められている。社会の変化を踏まえた柔軟な対応が必要である。	
「令和7年度学校経営計画」に対する質疑応答	
(意見・質問等)	・スクールポリシーの「主体性」の育成には、生徒に委ねるルールメイキングも必要ではないか。例えば自転車や朝読書の問題も、一方的に指導するのではなく、生徒自身に考えさせ、改善していく取り組みができればさらに良いと考える。
(意見・質問等)	・いくつか評価の指標が昨年より低く設定しているものがある。それが、実績に合わせて低くしたのか、理由付けをしっかりとしたい。
(意見・質問等)	・職員の健康増進について、現在は月の残業45時間を1つのラインとしているあったが、将来的には月の残業30時間が目安になることが予定されている。その中で、部活動の指導も含め、市立高校の特徴と健康増進のバランスをどのようにとっていくのか課題になっていくと思う。

